

－労働と教育の場「雑草」・ごはん☆あらぐさ・クローバーハウス・生活支援センター・法人・後援会だより－

あらぐさニュース

2020.07

Vol.78

発行/社会福祉法人あらぐさ福祉会 〒362-0051 上尾市地頭方 438-6 TEL048-726-5720 048-726-5862(支援センター直通)



コロナ禍でも頑張ってます！



現在「あらぐさ」では、様々な新型コロナウイルスの感染予防対策をしています。日常のあらゆる場面で、密にならないように分散して、日中作業や休憩を行っています。また施設内のホールではソファの間隔をあけて設置し、毎日朝と昼に、施設内や送迎バスの消毒、昼食時には対面にならないように座り、人数を減らすために3グループに分かれて食堂で昼食をとるなどの対応をしています。そして、各家庭には毎日体温カードの記入をお願いしています。その他、6月までは一部利用者の方に通所時間をずらす等ご協力をしていただき、現在もバスや電車などの公共交通機関を利用している方には、混雑する時間を避けて通所するなどの対応をとっています。

少しずつ落ち着いてきてはいますが、感染者は東京だけでなく埼玉も増え続け危機的状況になっていて、まだまだ油断はできない状況です。今後も長期で続けられるような対策案を出し合い、利用者の方が安心して通えるような体制を考えていきたいと思えます。

(井上)

頑張ろう作業班！

「あらぐさ」の作業も、コロナ禍で大きく様変わりしました。仕事があることの日常がとても幸せな事だったと実感しています。落ち着いても今までとは違う形になるでしょう。新しい作業のやり方・内容等を「なかま」を中心に再構築していかなければならないと思っています。

リサイクル班

缶は、地域の皆様が生活していれば変わりありません。必要なのはコロナ禍に合わせた対策です。マスクはほとんどの方が着用できるようになりました。手洗いも更にしっかりと行っています。厳格にできたのは、「なかま」達の協力あってこそです。

リサイクルは世界情勢に大きく左右されます。今回はどの回収品も最底値を記録。収入は大きく減少し、「なかま」の工賃に関しても下方修正の形で見直さざるを得ない状況となってしまいました。今年の夏は厳しくなりそうです。

ブリヂストン班

コロナ禍で「ブリヂストン」の生産ラインが止まり、作業量は従来の1~2割ほどに落ち込みました。マスクの着用や密を避けるため作業室では隣り合わせや対面を避けた座席配置に変更するなど、安全に配慮しながら現実と向き合ってきました。「なかま」達にとっては堅苦しい決まりも増えましたが、協力し合ってやって来られたと感じています。

ウォーキングやレク等を取り入れ、体力作りも行ってきました。まだ以前のような活動ではありませんが、少しずつ日常を取り戻しつつあります。

菓子班

販売先が皆無になり製造作業が出来ませんでした。「お菓子を作りたい」のに作業・販売に行けないのは、「なかま」達にとって辛いと思います。その期間は翌日の仕事の予定が立てられず、不調になった「なかま」もいました。

作業ができない時間は、ウォーキングやレクレなども取り入れました。普段の作業の中では見られない一面をこの期間でたくさん発見できました。大変な状況でしたが一人ひとりの「なかま」とじっくり向き合えて良かったと感じています。

作業量が少ないので、6月の下旬から「なかま」の何人かを他班に分散して別な作業をしてもらっています。現在も販売の見通しは立っていません。6、7月はお中元のクッキーで忙しいですが、これからはおそらく仕事がない不安定な状況です。安定した菓子作業をみんなでできる日が来ますように願っています。

こぼん☆あらぐさ

衛生面を徹底しています。まだまだ仕事量は少ないですが、全員でパン作り喫茶室での販売を頑張っています。

「なかま」の中には、「自粛はいつ解除になりますか？」と一日中話す人や、ソワソワ落ち着かなく調子が悪くなる人、自粛で生活リズムが変わり元のペースに戻すことが大変な人…とさまざまですが、少しずつ元の生活やペースに戻ってきています。

これからのニーズに合うお客様に喜んでもらえるようなパン作り、お店作りをしていかなければならないと感じています。

コロナ禍での「なかま」の生活

東日本大震災後の「なかまたち」を描いた映画「星に語りて」では、障害を持った人たちは支援枠から漏れてしまっていました。映画の中では「障害者が消えた」と表現していましたが、衝撃的な言葉でした。

今回のコロナ禍で同じ轍を踏んではならないという思いと、今後どうしたらいいのかを探る第1歩として、ご家族の皆さんに感想を寄せていただきました。その内容にご家族の思いと大変さを知ることができました。少し長くなりますが、全部をご紹介します（全掲載の為一部を省略又は変更させていただきました）。

私も主人も持病があり、命取りとなるコロナにつらい毎日です。家にウイルスを持ち込まないためにコロナ対策を徹底しました。①玄関に消毒用アルコールを置いて消毒、②手洗いうがいをする、③家の中の共用部分（ドア・お手洗い・スイッチ等）は1日1回の消毒、④土日はステイホーム、⑤万一外出時はマスク着用と短時間で用事を済ませるなど、気の休まることはありません。

悦子は買い物大好きですが、行けるのは近所のコンビニくらい。通院はお父さんと一緒に高速に乗ってドライブすることも楽しみにしていました。それでもテレビで好きな動物園や水族館の映像が流れると嬉しそうに見ていました。

須永

ソーシャルディスタンスとか新しい日常と言われていますが、距離を取ることが難しい場面も多く、職員さんには感染する又は感染させてしまう怖さを感じつつの日々の中、子どもたちの為、いつもありがとうございます。自粛期間中は家の手伝いをしたり体を動かしたりゲームをしたりして過ごしていました。息子はまだ卒業したばかりで夏休みのような長い休みに慣れていた上に、弟も休校で家に居たので問題なくいられましたが、親亡き後はどうなるかと考えています。

岡島

4月に入所し歩いていくのにも慣れてきて本人の中で「あらぐさパターン」が出来てきたころに自粛となってしまいました。本人は「あらぐさ行く！」と何度も言ってきて、「あらぐさはお休みです」「残念！！」というやり取りを数十回繰り返してようやく納得してくれた感じでした。

期間中は、家で塗り絵や編み物、好きなDVDを見たりして過ごしました。少し離れた公園に車で行ったら駐車場が閉鎖されて入れなかったこともありました。なので近所の散歩をする程度の運動しかできませんでした。時々おじいちゃんのお手伝いのできたのはよい気分転換になったと思います。自粛中には毎日お電話いただいてありがとうございました。本人とはあまり会話にならなかったと思いますが、お気遣いくださり感謝しております。

都野

ステイホームと言いますが我が家は団地の狭い部屋です。自粛期間の半月余り外に全然出ないと本当の病気になってしまいます。母としては千大が健康でないと困ります。そこで暫く放っておいた畑の草刈りを少しして、千大に花の種を蒔いてもらうことにしました。ゆっくり起きて朝食を取り身支度をして車で畑へ行きました。暑い日が続いていたので30分程度が限界です。向日葵2種類とコスモス・マリーゴールドを1日1袋分けて蒔きました。コスモス・マリーゴールドはもう咲いています。向日葵は千大より背が伸びています。咲くのが楽しみです。帰宅後、シャワー・昼食で午後はフリーです。一人遊びの上手な千大は片付けが好きで色々なものを出しては本人なりの整頓をほぼ毎日していました。またある日は団地の郵便局まで散歩して、花屋で撫子を買ってベランダで鉢に植えました。床屋に行った日は「こぱん」でパンを買いました。たまには公園と思い出かけましたがどこも駐車場が閉鎖でした。食事は写真を撮り「何食べたかな？」がないようにしました。

思えば、千大が産まれて直ぐ救急車で日大病院に入院してから20年。いろいろな事があり大変忙しい日々でした。やがてグループホームに入って自立するのが何年後かわかりませんが、2人で24時間ゆっくり過ごしたこの期間は立ち止まってこれからのことを考えることもできました。心配は尽きません。コロナが早く収まるのを祈るばかりです。新井

通所自粛は長めのゴールデンウィークと思えば家での過ごし方を模索しました。ネットで色々見ていたら5枚セットの砂絵を見つけたので購入し1日1枚やって時間つぶしにと思っていましたら5枚すべて1日でやってしまいトホホでしたが、その後はお昼御飯用にパンと一緒に作ったり、おやつにシフォンケーキやスフレチーズケーキのメレンゲ担当を頑張ってもらいました。やはり一番大変だったのは3食のごはんで、雑草の給食は本当にありがたいと改めて思いました。とりあえず元気にケガもなく過ごせたので良かったです。田中

29歳の息子は4月8日の朝に38度の発熱があり雑草を休みました。その日はかかりつけの病院が休診日だったので解熱剤を飲んで様子を見ました。翌日電話をしてから病院に行き薬を出していただき発熱も落ち着きました。コロナの問い合わせ先へも電話をしましたが、PCR検査を受ける対象ではないとのことでした。それでも念のため部屋を隔離し、家族3人が別のトイレを使い、食事も使い捨ての容器を購入し、常にマスクをする日常になりました。

インターネットの情報から15日頃には雑草に行けるかと息子が支度をしていた13日の夕方に、雑草から発熱後2週間の通所制限の連絡がありました。楽しそうに支度をしていた息子は雑草に行きたくて号泣してしまいました。親は通所制限を理解していましたがもらい泣きです。

その後B型の通所制限が始まり、その日からは雑草から夕方に電話があり職員さんと嬉しそうに話していました。課題も出たので毎日楽しく過ごしていました。制限が終わり雑草に通所するようになってからは、マスクを上手にすることができるようになったことがよかったことでしょうか。匿名

世の中がコロナで大騒ぎになっていることを笑里は全く理解できません。風邪の時も花粉症の時もインフルエンザが流行っている時もマスクは拒否するので、当然このコロナでも勿論「拒否」。「不要不急の外出は控えて」と言われても何日も家から一步も出ずにいられるはずもないし緊急事態宣言が出た時、この子とどう過ごしたらいいんだろうと悩みました。

食品の買い出しは母だけで行き、食品売り場以外は混んでいなかったのも土日は笑里の好きなグッズを一つ買うためだけの買い物に連れていくことにしました。「お店に入るにはマスクをしないと入れない。嫌なら帰ろう」と話すと、欲しい気持ちにはかえられず買い物をしている10分くらいの時間ならマスクをしていられるようになりました。今は「欲しい物を買う」ためのわずかな時間の繰り返しののおかげで少しずつマスクをしていられる時間が長くなり、先日通院のため病院に行った時も最後までマスクをしていられました。コロナ禍の中で、ささやかですが本人が成長できた部分だと思います。

まだまだ安心な日常には程遠いですが体調不良などをうまくアピールできない笑里に細心の注意をはらいながらできるだけストレスをためず感染もせずに生活していけるよう見守っていきたいと思います。

谷塚

緊急事態宣言後は週末自宅に帰れなくなりホームでの生活になりました。初めての経験で家に帰りたいと言ってくるのではないかと心配しておりましたが、本人はすんなり受け入れました。ホームの仲間と楽しそうに散歩している写真をラインで送っていただき安心しました。家族・本人共に良い経験をしました。

柴崎

爆発的な感染拡大を受け今までの日常が一変してしまいました。公共のバスで通所していましたが禁止になり家族が送迎することになりました。「コロナ感染が心配だからバスは駄目だよ」と何度話しても理解し納得するのは難しく、夜になると「明日はバスに乗れますか?」「バスでこぼんに行きますから」と言っていました。

自粛になってからは、家で息子と二人コロナの中の生活について話しました。マスクは嫌がらずにつける、密にならずソーシャルディスタンスで人と距離を取り大きな声でしゃべらないこと等、毎日毎日話しました。「またコロナの話ですか」と怒っていましたが、障害のある子が感染し病院で検査や入院することができるのか考えると心が落ち着きません。1日も早くコロナが収束することを願うばかりです。

石塚

しおりは趣味(?)の歌・ダンス時々映像を見ながらアフレコをしていました。私の仕事はいつも通りありましたので、一緒に何かするという時間は持てませんでした。(パンをこねる感覚を忘れないように紙粘土をして遊びました)。兄もテレワークで自宅にいたので気持ち的な負担は少なかったと思います。

斉藤

コロナが流行して、我が家には除菌の置き型タイプやハンドジェル抗菌スプレーやマスクなど
があちらこちらに置かれるようになりました。自閉症の我が子は、抗ウイルススプレーのパッケ
ージを見て「ウイルス」と口にし自分でマスクに吹きつけもしますが、目に見えないウイルスの
への理解は難しく本当の怖さはわかっていません。通所自粛要請の際はとても悩みました。彼は
予期せぬ事態や変化への対応が大変苦手です。そのため「ステイホーム」で本人が受けるストレ
スが引き金となり二次障害が生じることが心配でした。もともと睡眠が不安定になりやすく自傷
行為を起こすことがあります。本人のストレスは勿論ですが二次障害を繰り返さないかという家
族の不安、その時の負担を考えるとどうしても自粛に踏み切れずそのまま通所させていただくこ
とにしました。しかし余暇の過ごし方は否応なく変化がもたらされました。これといった趣味の
ない子ですが外食や旅行は大好きです。様々な店が休みになりゴールデンウィークには毎年恒例
だった父の実家への帰省ですら県をまたぐため行けませんでした。そして「〇月〇日福島」「〇
日、〇曜日××ラーメン」とか、とにかく自分の希望を私たち家族に訴え続ける日々が始まりま
した。今までも意思疎通が難しかったのに今回は店が閉鎖されていたのですから言っても理解で
きないのです。そこで私たちは彼を店まで連れていき閉店された店舗を実際に見せました。彼は
自分の目で実情を確認し「工事中～」などと自分に納得させているようでした。この行動を彼が
希望する店全てに行きました。最近になって、規則正しい生活を送ることができ毎日通う場所が
ありメリハリをつけて余暇を楽しむことがいかに重要なことかが身に沁みます。今後再び起こり
うる可能性を考えると障害者と家族の双方を支えることができる何らかの体制が整うことを切に
願います。

山口

5月7日から16日まで雑草の通所自粛と第1クローバーハウスを自主的に休み、自宅で過ご
しました。自宅で過ごすのは好きですが、少し外に出掛けないと怒るためアリオのヨーカドーに
行きました。自粛する前に雑草でマスク着用を指導して頂いたお陰で自分からマスクを着用する
ことができるようになり、ヨーカドーに行くことができてよかったです。昼食に自分の食べたい
物を買うという20分程のお出掛けでしたが、それでも満足してくれ、あとは自宅でテレビを観
たりゲームをしたり毎日同じパターンの生活を送っていました。17日からの通所とクローバー
ハウスでの生活は、自分なりに今日からまた始まるというのが分かっていたみたいで、すんなり
受け入れてくれたのでホッとしました。ただ期限が決まっていたので自粛生活はこなせました
が、これが事業所閉鎖となると本人も家族もストレスが溜まりどうなるか不安です。

今事業所は感染者が出ておらず通所出来ていますが、感染の恐怖は常にあります。でも色々な
対策をされていて、事業所も家族も気を付けているので、このまま通所出来たらと思います。

色々心配な面はありますが、職員・家族と今後のことについて話し合いを持ち、新たな方向性
を確認し合うことが必要ではないかと思います。

高橋

後援会のページ

6月13日(土)に開催予定でした「第21回後援会定期総会」は、新型コロナウイルス拡大防止のため開催せず、後援会事務局員に提案し書面決議の同意を得ました。

会計報告といたしまして、2019年度はあらぐさ福祉会本部に260万円を寄付致しました。

台風・コロナの影響でイベントが中止となり、あまり収入が得られなかったにもかかわらず、260万円を寄付できたということは、皆様が賛助会員として継続して下さったこと、新規に加入して下さった方が増えたこと、また、わかめ・昆布を買って下さったことなど、皆様の支援のお陰だと心より感謝申し上げます。

今年度は社会状況を見ながら活動を考えてまいりますので、決まり次第お知らせ致します。

どうぞ今年度もよろしくお願い致します。

後援会会長 高橋弘美

「星に語りて」上映会の中止のお知らせ

来年に延期を予定していた上映会をコロナ感染拡大のため中止いたします。最近また感染の広がりが増してきたため、見通しが持てず来年も中止とさせていただきます。上映会を再開できず申し訳ありませんでした。

チケットの払い戻しを致しますのでお手数をおかけしますが、ご連絡をお願いいたします。

連絡先：あらぐさ福祉会 ☎048-726-5720

2020年度賛助会員

ご協力ありがとうございました。(2020年5月26日分まで)

福田和仁	松野恭子	伊沢武登	田中吉忠	小畑澄子	中嶋敬蔵	小川仙一
石川貞子	三部弘子	菅原慧子	赤沼智子	秋山和子	中川友子	沼田君子
畔上恭彦	福永恭子	長竹孝志	長竹初江	木村理江	秋山もえ	並木秀浩
太田正一	嶋田洋子	井上富子	松長清水	八木和子	山口恵子	保住裕子
深井美千子	伊予久映子	清水統	小出千栄子	新井茂	金子実	関美和子
西山朗	本多紀恵子	伊藤まつ江	神田清二郎	堀口めぐみ	浅井朗	野村かおり
村松智恵子	(株)はが建築社	(株)アーシード建築設計				(敬称略)

九州豪雨被害募金のお願い

7月の熊本県南部の豪雨で、人吉市「白いキャンパス」では床上浸水・送迎車3台が水没、天草市「ひなたぼっこ」では浸水パソコン・車両が使用不可、佐世保市の事業所では農作物が流され農作物の収入がなくなりました。「きょうされん」のホームページで詳しく載せていますが、この他にも多くの深刻な被害が予想されます。コロナ禍で大変な中、更なる追い打ちに「雑草だったら」と思うと胸が痛みます。

「きょうされん」では障害者の施設に限定して金品の募金をしています。皆様のご協力をお願いします。直接入金されるか、「雑草」に届けていただいても、まとめて送ります。

<口座名義> きょうされん自然災害支援基金

<口座番号> 00100-7-86225

あらぐさのケーキ・クッキーを ぜひ買ってください！！

菓子販売の売上は経費を除き全て仲間の工賃になりますが、コロナの影響で4月から販売が激減しています。ぜひケーキやクッキーを買ってください。「あらぐさ」の味を広めてください。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

～ クッキー ～

各 300 円

バターの香り高く、パリ！サクッ！とした口当たりのクッキーです。
種類も豊富で色々な味を楽しめます。

アーモンドスティック / チョコチップ / チョコオレンジ / オレンジ
抹茶チョコチップ / 抹茶クランベリー / ココアアーモンド / カントリー
ターメリック / ジンジャー / 紅茶 / セサミ / くるみ

～ ケーキ ～

各 150 円

ロールケーキは、純生クリーム濃厚で後味さわやかな口当たり。
シフォンは、口溶けふわわり、優しい味です。

☆ ロールケーキ ☆

チョコレート / ブルーベリー / レモン / はちみつレモン
いちご / 抹茶 / ほうじ茶 / チョコミント(夏季限定)

☆ シフォンケーキ ☆

チョコレート / バナナ / ミルクティー / オレンジ / パンプキン
ゆず / 抹茶 / はちみつレモン

ご注文は電話・FAXにて承ります。

TEL 048-726-5720

FAX 048-726-7177

「雑草」にご来所または市内の方は配達致します。

郵送の場合は送料のご負担をお願いします。

【編集後記】

観光地再開に伴い、旅行等を楽しみにしている方もいらっしゃると思います。今年にはマスクを着用する機会が多いので、例年以上に熱中症への注意をしてお過ごしくださいね。環境省「令和2年度の熱中症予防行動」より一部抜粋です。ご参考にどうぞ。

- ①暑さを避けましょう…換気を確保しつつエアコンの温度設定をこまめに調節
- ②適宜マスクを外しましょう…人と十分な距離を確保できる場合にはマスクを外す
- ③こまめに水分補給をしましょう…大量に汗をかいたときは塩分も忘れずに
- ④日頃から健康管理をしましょう
- ⑤暑さに備えた体作りをしましょう

(山口)